

公表

事業所における自己評価総括表【児童発達支援】

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」小倉北校		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 24日 ～ 2025年 12月 10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2025年 11月 17日 ～ 2025年 11月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多機能型の事業所のため、児童発達支援と放課後等デイサービスの利用者が同じ空間と時間の中で活動を行う事ができる	・関係性の構築やADLの向上など、個別で対応するところは担当職員が行えるように支援しています ・放課後等デイサービスの利用者と児童発達支援の利用児とが一緒に活動ができるように、職員が仲介し関わることで円滑に活動する時間を設けています	・個別支援の時間と、小集団の活動のメリハリをつけるよう視覚情報を活用しながら工夫を行う ・職員間での利用児情報の交換を密に行っていく ・保護者や園からの情報を互いに共有して、担当不在の際にも他の職員が対応できるようにする
2	・保育士や子育て経験のある職員がいる	・専門性や経験を生かして、教材の制作や声掛け、誘導を行っている。 ・ADLの向上の観点においても、オムツ交換や着替え、食事の介助などを行っている。	・集団での活動や他児との交流を通じて社会性や活動の幅を広げていけるように支援を行う。 ・指導員や新入社員への支援の手法や情報のアウトプットを行う。
3	・職員のバランスの良さ	・若手職員も充足しており、利用者に年齢が近い分、互いに打ち解けるのも早く関係性を作りやすい ・非常勤含め、子育て経験が豊富なベテラン職員も数名いることで、保護者からの相談にも対応できる	・利用者によって打ち解けやすい職員が異なるので、今後も職員同士情報共有を図り、利用児との関係性の構築を図る

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	育児相談や生育面での助言ができる職員の少なさ	・若手職員が多く、相談対応の経験不足 (放課後等デイサービスでも同じことが言えるが、若手職員が多くを占めることもあり、事業所での関わり方や支援での工夫を伝えることはできるが、自身の育児経験の少なさから生育面などでのアドバイスが特に難しい。)	・育児などのへの知識の収集や今後の支援の中での経験を積んでいく。 ・保護者からの相談や質問に対して事業所全体で考えていくという体制を作る ・面談やお迎えなどの場でのコミュニケーションを通じて関係性の構築を行っていく
2	・事業所の入り口が2階でエレベーターがない	・安全面や動線への配慮が必要な状況となっており、特に外街談の昇降には配慮を有するものの、建物の構造上対応に限界がある	・事業所入り口が2階部分でエレベーターがないことや事業所目の前が道路になっていることなど、建物の構造、事業所の立地等、環境改善に限界があり安全面や動線への配慮が必要な状況となっている ・危険が想定される場合には、職員配置や環境調整により対応する
3	・個別療育と小集団活動とのバランス	・利用者の年齢の幅広さ ・活動によっては児童発達支援の利用者にはけがなどの危険を伴う活動もあり、活動の調整が難しい場面がある (例：ボールを使った活動、身体を使う等の粗大運動時) ・個別活動スペースと小集団活動スペースの確保や職員配置 (互いに違う活動をする際、場所の確保や環境整備が難しい)	・多機能型事業所の強みを生かし、小集団での活動プログラムの充足を図ります ・年齢や身体的なハンデの無い活動や遊びを充足させていく ・事業所の職員全体で曜日や時間帯に合わせた環境整備を行う

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果【児童発達支援】

事業所名 こどもサポート教室「きらり」小倉北校

公表日 2026 年 2 月 15 日

利用児童
数
12

2025年 12月 10日 回収数 7

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	1	0	0		法令を遵守したスペースを確保しておりますが、利用児が多い日もあるため、学習スペースと活動スペースを区切るなど、療育室の構造化を行っています
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	1	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	0	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	0	0	0	定期的に、面談をしてくださり、子どもの変化に応じて計画の見直しなどしていただきます。	日々の支援でのお子様の様子を注視しつつ保護者との面談などを通して情報共有を図り、発達の課題に沿った計画の立案に努めてまいります
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	0	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	2	1		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0	0	0		面談の際には、わかりやすく丁寧に説明できるよう心掛けております。ご質問等がございましたらお気軽にお問合せください

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	0	0	1		2025/11/23に保護者会にて、「親子ワークショップ」を行いました。ワークショップ後は職員と保護者の交流、保護者同士のピアサポートを実施しました
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	7	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	1	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	0	0	0	とても親身になって一緒に考えてくださっています。	ありがとうございます お子様に寄り添った支援を特に大切にしています 今後もより良い支援を目指して動めてまいります
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	0	1	2		年1回、秋に開催しております。 参加のご案内を早めに行い、多くの保護者に参加していただきたいと思います
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	0	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	0	0	0		定期的にホームページにて、ブログの更新を行っています。また、オフィシャル LINE を介してイベントの案内を行うなど、情報共有のできる環境を継続していきます
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	0	0	3		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	0	0	1		管理者が苦情受付責任者となり、事故やトラブルの際には迅速な対応を行っています
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	7	0	0	0		大切なお子様をお預かりする、安心安全な環境を提供し、療育の質の向上を目指してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7	0	0	0		今後も、お子様が安心して通所でき、笑顔で帰宅できる環境の提供に努めてまいります
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	0	0	0	大変感謝しております。ありがとうございます。	ありがとうございます。 これからも引き続き、お子様、保護者の皆様に寄り添い、愛され必要とされる教室となるよう運営してまいります

公表

事業所における自己評価結果【児童発達支援】

事業所名		公表日			
こどもサポート教室「きらり」小倉北校		2026 年 2 月 15 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		一人当たり3㎡以上のスペースを確保しています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法定の人員を配置しています。必要に応じて非常勤職員の増員も行っています。	利用児童の多い時間帯など、一時的に人員が不足していると感じることがあり、支援プログラムの工夫、利用時間の調整などを行ってまいります
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○	○	・療育スペースが複数の広さの部屋で仕切られており、用途によって使い分けができます 必要に応じて、パーテーションで仕切るなどの工夫も行っています	事業所入口が2階部分にあり、階段のため車いすやストレッチャーに対応できません
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・こまめに清掃を行っています ・こどもの活動の用途に合わせて複数の空間を小集団や個別のスペースなどの使い分けしています	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		一人で活動したり集中して学習に取り組みたい利用児には、個室を準備しています	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・常勤職員を対象に目標設定とその振り返りを行う人事考課を実施。半期に1度業務の振り返りを行っています。 ・定期的に職員の個別面談を行い、目標設定と振り返りを行っています	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に一度保護者アンケートを実施。改善につなげています	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員が意見を言いやすい雰囲気づくりをおこなっています	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		定期的に事業所外の者から内部監査を受けており、その結果を事業所内で共有し改善点を周知したうえで改善をおこなっています	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・(財)発達支援研究所へ研修を依頼し、月に一度支援に関する職員研修を行っています。 ・事例検討会や初任者研修など、社内研修の仕組みが構築されています ・法廷研修、教材図書などの委員会を設置しリモートでの研修制度も充実しています	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		一人一人に適切な支援計画を立て、支援プログラムを実施しています	・支援プログラ公表をおこなっています
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		フェイスシート、アセスメントシートを活用しニーズの探り出しを行い、利用児の状況と保護者のニーズを踏まえた計画を作成しています	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリング会議の際にニーズに合わせた活動プログラムとなるよう職員間で話し合い、意見を取り入れて計画を作成しています	

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		利用児の情報、個別支援計画等をいつでも閲覧できるようにしています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		全利用児へ統一したアセスメントを実施しています	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿った支援を提供しています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		指導員全体の意見を取り入れつつ、プログラムの立案を行っています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		少なくとも6ヶ月に1度は個別支援計画の振り返りを行い、利用児に合わせたプログラムとなるよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別と小集団の支援を織り交ぜて個人個人の状況に合わせた支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝朝礼を行い、当日の支援について確認を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日終礼を行い、その日の支援について振り返りを行い、情報共有を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録は当日中に記入し、モニタリングの資料として活用しています	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		少なくとも6ヶ月に1度モニタリングを実施しています	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		ガイドラインに沿った支援を提供しています	
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		利用児に選択肢を与えるなど、その日の支援プログラムを本人に決めていただくなど工夫を行っている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		担当児童指導員が参加できるように調整し、こどもの状況を深く理解した職員が参加しています	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		持病等について情報を収集したり、関係機関、医療機関との連携を行い支援をしている	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	（自立支援）協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				

	31	(31は、事業所のみ回答)		○	・保護者を通じてお話をお聞きし、受診同行も適宜行っています ・専門機関の医師などに状況報告書や意見伺い書等をお渡しして、支援についての情報共有を行っています	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	現在はそのような機会は設けていません	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時やモニタリング説明時に共通認識を確認しています。また、日々の様子は連絡帳やSNS(LINE)等で情報交換を行っています。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に書面と口頭で説明を行っています 質問や問い合わせがあった際にも、丁寧なご説明と対応を心掛けています	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		連絡帳、SNS(LINE)、連絡帳等で意思疎通を図りやすい環境を整えています。また、ご要望に沿って面談の機会を確保、対面での相談の機会を設けています	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		契約時の面談の際に、書面と口頭で丁寧かつ分かりやすい説明を心掛け、同意を得ています	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		適宜、行っています。より、相談しやすい環境づくりのために、家族支援なども行っています	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		2025/11/23に保護者会にて、「親子ワークショップ」をおこないました。ワークショップ後は職員と保護者の交流、保護者同士のピアサポートを実施しました	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		管理者が苦情受付責任者となり、事故やトラブルの際には迅速な対応を行っています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		事業所のブログや公式LINEを使用して活動の様子を保護者へ発信しています	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きキャビネットに個人情報ファイル等を保管し、退勤時にはパソコンも鍵付きキャビネットに収納しています	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		口頭のみでなく、書面やLINEにすることで、情報伝達の配慮を行っています	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	現在は、そのような機会は儲けていませんが、今後は検討していきます	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		毎月防災訓練を実施しています。ブログや、LINEの一斉送信、次月の利用予定表などで実施日のお知らせをしています	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年間計画を立て、月に1度防災訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用児の個別ファイルに書面情報を保管し、職員間で周知、共有しています	

非常時等の対応	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーがある場合は、アレルギー指示書へ記入してもらい、職員間での周知を行っています	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		毎月の防災訓練、定期研修に参加し、安全管理に関する意識向上を図り全職員でフィードバックを行っています	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に説明を行っています	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		作成、共有しています	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		入社時研修、毎月の虐待防止委員会研修、行政の研修で虐待防止に関する意識向上を図り全職員でフィードバックを行っています	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		重要事項説明書に身体拘束についての事項を明記し、必要に応じて個別支援計画への記載を行っています	